

安全データシート (SDS)

作成日：2009年12月01日

改訂日：2015年03月11日

【製品名（化学名、商品名など）】 MP-1

1. 製品及び会社情報

製品名（化学名、商品名など） MP-1

供給者情報

会社名： 京セラ株式会社
住所： 〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
担当部門： 機械工具事業本部
電話番号： 075-604-3651
FAX番号： 075-604-3472
緊急連絡先： 鹿児島川内工場 機械工具川内品質保証課 電話番号：0996-23-4116

製造元情報

会社名： シールエンド株式会社
住所： 〒146-0082 東京都大田区池上7丁目10番7号
担当部門： 品質管理課
電話番号： 03-3753-1113
FAX番号： 03-3751-2991
緊急連絡先： シールエンド株式会社 03-3753-1113

推奨用途および使用上の制限

主に金属材料等の切削加工用工具のチップを固定するネジ部に塗付して使用する。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 区分外
健康に対する有害性 標的臓器/全身毒性（単回暴露） : 区分3
環境に対する有害性 : 区分できない

上記に表示のないものは、分類対象外、または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

警告
(気道刺激性) 呼吸器への刺激のおそれ
屋外または喚起の良い場所で使用すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : 石油系合成炭化水素油及び増稠剤
成分および含有量 : 合成潤滑油基油 59%
増稠剤（シリカ） 3%
潤滑添加剤（二硫化モリブデン） 38%
化学式およびCASNo. :
国連分類および国連番号 : 該当しない

4. 応急処置

眼に入った場合	: 清浄な水で眼を洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 石鹼水でよく洗う。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移動させ、必要なら医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 吐かせないこと。速やかに医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 また、水スプレーで周辺のタンク、建物などを冷却し延焼を防止する。 水スプレーは発生するガスを拡散したり、消火作業に従事している人を保護するのにも使用する。発生するガスや燃焼生成物の吸入を抑えるため、消火作業は風上から行い、密閉空間や通風の悪い場所など、必要に応じて吸気式呼吸器を着用する。
消火剤	: 霧状の消火液、泡、粉末、炭酸ガス

6. 漏出時の措置

周囲の着火源を取り除く。	
少量の場合	: 土砂、ウエスなどで拭き取り空容器に回収し、その後を完全にウエスなどで拭き取る。
大量の場合	: 漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。 漏洩物は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収する。油が河川、下水道などに排出されないように注意する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

- ・炎・火花または高温体との接触を避け、みだりに蒸気を発生させないこと。
 - ・常温で取り扱うものとし、その際、水分・夾雑物の混入に注意する。
 - ・静電気が発生する恐れのある設備には、蓄積する静電気を除去する装置を設ける。
 - ・石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため、換気および火気などへの注意が必要である。
 - ・冷暗所にて保管すること。容器の蓋は、密封すること。
-

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 規定なし
許容濃度	: 規定なし
設備対策	: ミストが発生する場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設ける。
個人防護具	: 呼吸用保護具および保護眼鏡・・通常は必要でない。 保護手袋・・・長時間にわたり取り扱う場合は、またはぬれる場合には、耐油性のものを着用する。 保護衣・・・・長時間にわたり取り扱う場合、またはぬれる場合には、耐油性の長袖作業服などを着用する。

9. 物理的及び化学性質

外 観	: 黒色の半固体	揮発性	: なし
比 重	: 1.33	融 点	: 100℃以上
溶解度	: 水に対して難溶		
引火点	: 200℃以上	発火点	: 300℃以上
爆発限界 (オイルミスト濃度)	下限: 0.9vol%	上限	: 7vol%

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の取り扱い条件においては安定

避けたほうが良い条件：特に報告例なし

相性の悪いもの（混触禁止物質）：

過酸化水素 激しく反応する。

酸化剤（強） 火災、爆発の危険

硝酸カリ 爆発性の混合物を形成

危険な分解物：熱分解生成物は、二酸化炭素、一酸化炭素などの有害で危険なガスを放出する恐れがある。

重合性：常温常圧下で起こる重合の報告例はない。

11. 有害性情報

二硫化モリブデンとして

急性毒性（経口）：区分外 ラット LD₅₀ 27g/kg（潤滑基油）

皮膚腐食性/刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：データなし

呼吸器感作性または皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：二硫化モリブデンとしてのデータはないものの、モリブデン化合物として CERI ハザードデータ集(2002)の高濃度粉じんは上部気道を刺激することがあるとの記述から、区分3（気道刺激性）とした。

特定標的臓器/全身暴露（反復暴露）：データなし

吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性：データなし

分解性：未確認

魚毒性：未確認

その他：未確認

13. 廃棄上の注意

・投棄禁止

・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

・燃焼する場合は、安全な場所で、ほかに危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張り人をつけること。

14. 輸送上の注意

容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬すること。

15. 適用法令

消 防 法：非危険物（消防法により固体に該当し、かつ引火点が40℃以上であるため）

危険物船舶および貯蔵規則：非危険物

二硫化モリブデンとして

CAS No. 1317-33-5

化学物質管理促進法（PRTTR法）：

モリブデン及びその他の化合物（二硫化モリブデン） 第一種指定化学物質 453号

労働安全衛生法： 名称等を通達しなければならない物質（施行令第18条の2） 603
対象範囲 ≥1%
官報公示整理番号（化審法）：1-0481

16. その他の情報

参考文献

化学日報社：15308の化学商品

国際化学物質安全カード（ICSC）日本語版

化学品法令集

㈱成山堂書店：危険物船舶運送及び貯蔵規則並びに関係告示（運輸省海上技術安全局）

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類マニュアル（H18.2.10版）

原材料メーカー：製品安全データシート

本データシートに記載された内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成したものであり、新しい知見により変更される場合があります。含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意してください。

履歴

初回作成	2009年（平成21年）12月01日	
第2回改訂	2011年（平成23年）4月28日	緊急連絡先の変更（川内品質保証課）
第3回改訂	2015年（平成27年）3月11日	安全データシート（SDS）にタイトルを変更